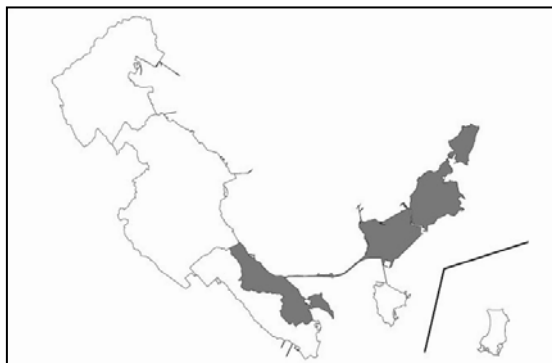


4) 与那城地域

現況と課題

与那城地域は、勝連半島の金武湾側及び平安座島、宮城島、伊計島で形成されている。勝連半島では県道8号線及び県道37号線沿道を中心に集落が形成され、その周辺は農地や丘陵地等のみどり豊かな空間が広がっている。



本地域の人口は減少しているが世帯数は微増傾向であり、土地利用状況は自然的土地利用が上回っている。公園・緑地は17箇所あり、住民一人当たり公園面積（供用開始）は18.4㎡となっている。（都市公園等一覧は参考資料 p59～61 参照）

本地域には、平安座島、宮城島及び伊計島の海岸線や丘陵地、斜面緑地等の豊かな自然が残っており、その維持・保全が課題である。

また、海中道路等の観光資源や各地域に残る数々の伝統行事、文化遺産等の地域資源が豊富にあり、これらの維持・保全や景観づくりが課題である。

表 人口・世帯数の推移 (単位:人、世帯)

	H2	H7	H12	H17
人口	14,125	13,123	13,358	12,536
世帯数	3,746	3,783	3,914	4,070

資料:国勢調査

表 土地利用状況

(単位:ha)

	自然的土地利用					都市的土地利用					合計
	農地	山林	水面	その他	小計	宅地	公共・公益用地	道路	その他	小計	
面積	584.7	336.4	27.7	105.9	1,054.8	554.8	54.3	141.0	100.3	850.3	1,905.1
構成比	30.7%	17.7%	1.5%	5.6%	55.4%	29.1%	2.8%	7.4%	5.3%	44.6%	100.0%

資料:平成18年 都市計画基礎調査

表 公園・緑地の状況

(単位:箇所、ha)

	住区基幹公園		都市基幹公園	その他の公園	合計	一人当たり公園面積(㎡)
	街区公園	近隣公園	総合公園			
箇所	5	2	1	9	17	18.4
面積	0.92	2.00	12.40	7.70	23.02	

緑道・その他(未決定)、未着手公園を除く

一人当たり公園面積:供用開始面積合計÷人口(H17国勢調査)

資料:うるま市 都市計画部 都市計画課(平成21年)

みどりの特性（主なみどりの資源）

本計画では、基本方針として「みどりを守る」「みどりをつくる」「みどりを育てる」の3つの柱を掲げている。（p23 参照）

「みどりを守る」には、樹林地や農地、河川や海岸・海浜等の自然環境の保全がある。また、歴史文化的な資源である史跡（グスク・井泉等）や闘牛場、集落の屋敷林等の保全もある。本地域においては、島しょ地域の斜面緑地、屋慶名川、仲原遺跡等の資源がある。

「みどりをつくる」には、道路の植栽帯や公園・緑地の整備、公共施設及び民間施設の緑化、地域住民による住宅地や河川敷・海岸等での緑化活動等がある。本地域においては、与那城総合公園横のクワディーサー並木道や海中道路ロードパーク、学校施設や石油基地等の緑化空間、道路等での地域住民による緑化活動等の資源がある。

「みどりを育てる」には、樹林地等の保全するみどりや公園等の創出するみどりの維持管理について、地域住民等と協働で樹木の剪定・草刈り・清掃活動等を行うことや、地域資源として観光や教育等への活用等がある。本地域においては、地域住民等による公園や道路の清掃活動や宮城島での生物観察会等のイベント開催といった資源がある。

本地域のみどりの特性となる主な資源を、住民意見を踏まえて以下のように整理し、次頁において図示する。

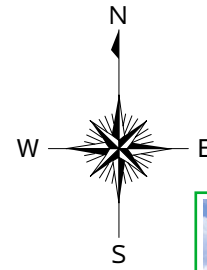
樹林地	西原や屋慶名等の丘陵地、島しょ地域の斜面緑地等
農地	照間のピーグ田（い草田）、伊計のタバコ畑等
河川	屋慶名川
海岸・海浜	金武湾の海岸・海浜、伊計ビーチ・大泊ビーチ等
史跡・闘牛場	仲原遺跡、ジャーネー洞、屋慶名闘牛場等
屋敷林・シンボルツリー	フクギ屋敷林（屋慶名、伊計等）、伊計小中学校のクワノハエノキ等
道路の植栽帯	与那城総合公園横のクワディーサー並木道、照間のモクマオウ群等
公園・緑地	与那城総合公園、宮城中央公園、海中道路ロードパーク等
施設緑化（公・民）	庁舎、学校教育施設、石油基地、リゾートホテル等
良好な眺望点	野グスク、シヌグ堂遺跡、高嶺遺跡等
地域の緑化活動	あやはし海中ロードレースに向けたボランティアによる花の苗の植え付け等

また、以前あったが現在はなくなった良好なみどりとして、屋慶名のフクギ並木等が、住民意見から挙がった。

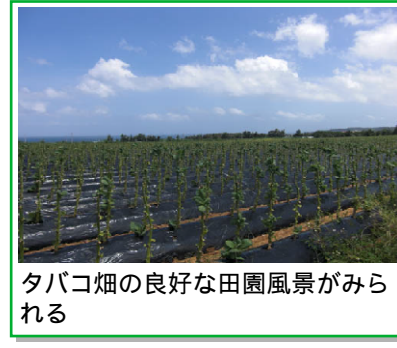
みどりの現況特性図（与那城地域）

0 500 1,000 2,000m

凡 例	
	主な公共施設
	史跡・闘牛場
	井泉（カー）
	ビーチ
	公園
	国道・県道
	良好なみどり
	以前あった良好なみどり
	良好な眺望点
	水面（河川・水路）



伊計大橋手前からの良好な眺望



タバコ畑の良好な田園風景がみられる



仲原遺跡



海岸沿いの森林地帯に旧石器時代の貝塚がある

アダンの木がみられる

伊計集落内にフクギ屋敷林がみられる

東海岸線・宮城島の入江が良好な景観を形成している



トンナハビーチ

良好な田園風景がみられる



平安座集落内にみられるフクギ屋敷林と石垣



海中道路は、ドライブコースとして来訪者が多く訪れている



シヌグ堂遺跡からみる伊計島への良好な眺望



ピーグ田（い草田）の良好な田園風景がみられる



照間集落内にみられるフクギ屋敷林

屋慶名の海岸では防風林がみられる

桜の並木がみられる

フクギ並木があった

まとまった丘陵地がみられる

まとまった丘陵地がみられる

うるま市社会福祉協議会背後に樹林地が残っている

海中道路付近で生活排水が流出し、悪臭がする



藪地大橋からの良好な眺望

海岸域は人工的な海岸もあるが自然海岸も残されている



工業地帯にみられる緑化



ヤンガー



屋慶名集落にみられるフクギ屋敷林

屋慶名展望台からの良好な眺望

藪地島には多くの歴史文化資源やみどりが残っている



ジャーネ洞

みどりと潮風の香る 癒しのあやはしのまち

将来像の考え方

のどかな田園、勝連半島北側と島しょ地域に面する自然海岸や白い砂浜等、豊かなみどりと海岸環境を保全し、それらが地域資源として活かされるまちを目指す。勝連半島と島しょ地域を結ぶあやはし（美しい橋）のように、人々と清く豊かな自然とを結び、心身が癒されるようなまちを目指す。

方針

みどりの特性を踏まえて、上記に掲げるみどりの将来像を実現するため、みどりを守り・つくり・育てるための方針を示す。

樹林地の保全

西原や屋慶名等の丘陵地、平安座集落背後や宮城島及び伊計島を取り囲む斜面緑地、藪地島を覆う緑地等については、骨格的なみどり及び地域の貴重な自然景観として保全を図る。その手法として、地域との協議のもと、風致地区等の各種地域制緑地（p5 参照）の指定を検討する。



樹林地（宮城島）

農地の保全

照間のピーグ田（い草田）は、地域の貴重な田園風景として保全に努める。また、宮城島・伊計島には地域の特性に合った田園風景が広がっており、集落景観や漁村景観と一体的な保全・活用を図る。



タバコ畑（伊計島）

河川の保全・活用

屋慶名川については、地域と連携した創意工夫のもと、緑化空間や親水空間の確保に努めるとともに、地域のシンボリックな樹木である屋慶名のクワディーサーや田園風景等の周辺環境と調和の取れた景観形成に取り組む。



屋慶名川



海岸・海浜のみどり

本地域の海岸域は、伊計島に植生するアオガンピや宮城島に生息するオカガ二等の貴重な生物の生息地・生育地となっている。また、伊計ビーチ・大泊ビーチ等には白い砂浜が残っている。これらの海岸・海浜については、良好な自然環境や生態系、景観を守るため、可能な限り現状のままの海岸環境の保全に努める。

また、ごみ・ヘドロの堆積や悪臭の問題が発生している海中道路の周辺海岸の環境浄化や干潟の保全に努める。

伊計大橋の赤と海の青のコントラストや、かつてマーラン船も行き来した屋慶名海峡と藪地島等、美しい海岸景観を維持・保全し、地域振興の重要な資源として活用を図る。

さらに、県道 37 号線や県道 239 号線沿いの海岸線は、貴重な観光資源でもあるため、良好な自然環境の保全に努めるとともに、憩いの場や交流の場として海岸・海浜の利活用を検討する。



オカガ二観察会（宮城島）



屋慶名海峡

井泉の保全

屋慶名のイシガー、平安座のハマヌカー、伊計のソーダンカー等、各集落に残る井泉及びその周辺環境については、地域と協働で環境整備や維持・保全を図り、地域資源として活用する。



屋慶名のイシガー

歴史文化資源の保全・活用

ジャーネー洞、伊計グスク、犬名河、与佐次河、各集落にある拝所等の地域の歴史文化資源については、地域の歴史と伝統を伝える資源として、地域の協力のもと史跡周辺のみどりと一体的な維持・保全を図り、これらを活かした景観づくり等を進める。



伊計グスク

特に、沖縄県の代表的な村落跡として保存整備されている仲原遺跡については、適切な維持管理と観光資源として活用を図る。

また、屋慶名闘牛場は周辺を含めた環境整備により、地域の農村伝統文化の場として保全・活用を図る。

史跡等の整備にあたっては、歴史的な物語性等を考慮するとともに、自生種を中心に植栽する。



屋慶名闘牛場

屋敷林や地域のシンボルツリー等の保全

屋敷名や伊計等の集落内に残るフクギ屋敷林は、昔ながらの集落景観を形成しており、その保全を図る。

また、伊計小中学校のクワノハエノキや宮城御殿のガジュマル等の地域のシンボルとなる樹木を、保存樹制度の活用等により地域住民と協力して維持・保全する。(p87 保存樹(案) 一覧図参照)



伊計小中学校のクワノハエノキ

道路の緑化と維持管理

与那城総合公園横のクワディーサー並木道はみどりのトンネルを形成しており、県道 37 号線の照間のモクマオウ群は、防風・防潮林としての役割を果たしている。今後も、地域住民や専門家等の意見を聞きながら魅力的な街路樹を整備するとともに、地域が愛着を持って育てていけるような道路愛護団体登録制度等の仕組みを検討し、地域や関係機関との協力のもと、適切な維持管理に努める。



与那城総合公園横のクワディーサー並木道

特に、本島と平安座島を結ぶ海中道路は、来訪者が多く訪れる観光・ドライブコースとして、潮風等の環境に強くて魅力的な緑化を進め、良好な沿道景観の形成を図る。

また、防災上重要な主要幹線道路については、防火帯となるよう重点的に街路樹を配置する。



海中道路

公園・緑地の整備

与那城総合公園や宮城中央公園等の既存公園については、快適に利用できるよう地域住民や関係機関の協力のもと、魅力的な機能の構築、植樹や樹木の剪定、遊具・トイレ等の施設の維持管理を図る。

特に、観光拠点として多くの来訪者で賑わう海中道路ロードパークは、潮風等の環境に強くて魅力的な緑化を進め、緑陰や景観の創出に努める。



与那城総合公園

桃原等の身近な公園が不足している地域については、配置バランスを考慮し、新規公園の整備を検討する。(p11 字別住民一人当たり公園面積現況図参照)

公園整備については、地域ニーズを反映させるとともに、防犯等の安全性や利便性・快適性等に配慮する。



宮城中央公園

公共施設・民間施設の緑化

地域参加型による多様な緑化手法を検討し、公共施設緑化を進める。また、民間施設については、大気汚染等への緩衝帯や隣接する住宅地等への防火帯といった役割を果たす工業施設の緑化、観光振興にも寄与するリゾートホテルの緑化等、それぞれの施設の特性に応じた緑化・維持を進める。



住民による施設緑化(照間)

住宅地の特性に合ったみどりの保全・創出

本地域には、平安座島・宮城島・伊計島の島々を中心に、伝統的な農村・漁村集落の形態が多く見られる。集落内にはフクギ屋敷林や集落背後林、大木・古木、井泉等の資源が多く存在しており、これらを周辺環境と合わせて保全する。

また、本市の代表的な観光拠点である勝連城跡と海中道路をつなぐ地域の住宅地は、観光ルートの背景に相応しい景観づくりとして、質の高い緑化を進める等、地域住民とともに住宅地のみどりの保全・創出に取り組む。



石油基地の緑化空間(平安座島)

高台からの眺望の保全

野グスク、シヌグ堂遺跡、高嶺遺跡、屋慶名展望台等の高台から見る集落や海を望む壮観な眺望の保全に努める。



シヌグ堂遺跡からの眺望

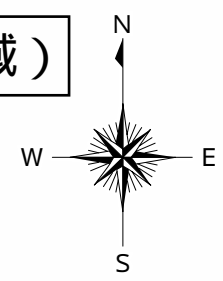
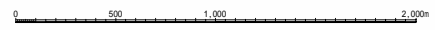
地域とともに取り組むに緑化活動

本地域には、各自治会をはじめ、地域住民等で組織される緑化団体が意欲的に活動しており、活動の場は地域コミュニティづくりにも寄与している。これらの団体とボランティア・関係機関・行政等による協働体制を構築し、それぞれの役割を果たしながら、沿道緑化・清掃活動等を継続的に取り組む。



ボランティアの緑化活動

地域別方針図（与那城地域）



凡 例	
	樹林地の保全
	風致地区検討区域
	急傾斜地崩壊危険箇所
	農地の保全
	河川の保全と活用
	海岸・海浜の保全
	井泉の保全
	歴史文化資源の保全・活用
	道路の緑化と維持管理
	公園(整備済・整備中) 公園・緑地の整備
	住宅地の特性に合ったみどりの保全・創出(用途地域内)
	住宅地の特性に合ったみどりの保全・創出(用途地域外)
	工業地の緑化
	港湾

みどりの将来像 みどりと潮風の香る 癒しのあやはしのまち

照間のピーグ田(い草田)は、地域の貴重な田園風景として保全に努める。

県道37号線や県道239号線沿いの海岸線は、良好な自然環境の保全に努めるとともに、海岸・海浜の利活用を検討する。

野グスクの高台から見る集落や海を望む壮観な眺望の保全に努める。

西原の丘陵地は、貴重な緑地帯として維持・保全を図り、風致地区等の指定を検討する。

屋慶名の丘陵地は、貴重な緑地帯として維持・保全を図り、風致地区等の指定を検討する。

屋慶名闘牛場は周辺を含めた環境整備により、地域の農村伝統文化の場として保全・活用を図る。

本島と平安座島を結ぶ海中道路は、潮風等の環境に強く魅力的な緑化を進め、良好な沿道景観の形成を図る。

観光拠点となっている海中道路ロードパークは、潮風等の環境に強く魅力的な緑化を進め、緑陰や景観の創出に努める。

ごみ・ヘドロの堆積や悪臭の問題が発生している海中道路の周辺海岸の環境浄化や干潟の保全に努める。

屋慶名川は、地域と連携し、緑化空間や親水空間の確保に努める。

藪地島を覆う緑地は、貴重な緑地帯として維持・保全を図り、風致地区等の指定を検討する。

ジャーネー洞は、地域と協働により保全・整備に努める。

屋慶名海峡と藪地島の美しい海岸景観を維持・保全し、地域振興の重要な資源として活用を図る。

宮城島の田園風景は、集落景観や漁村景観と一体的な保全・活用を図る。

宮城島を囲む斜面緑地は、貴重な緑地帯として維持・保全を図り、風致地区等の指定を検討する。

平安座島の集落内の歴史文化資源を、地域の協力のもと維持・保全に努める。

伊計グスク、犬名河、仲原遺跡等の歴史文化資源を地域の協力のもと維持・保全・活用する。

伊計大橋の美しい海岸景観を維持・保全し、地域振興の重要な資源として活用を図る。

伊計島の集落内の歴史文化資源を、地域の協力のもと維持・保全に努める。

伊計島の田園風景は、集落景観や漁村景観と一体的な保全・活用を図る。

海岸・海浜は、良好な自然環境や生態系、景観を守るため、可能な限り現状のままの海岸環境の保全に努める。

宮城島の集落内の歴史文化資源を、地域の協力のもと維持・保全に努める。

シヌグ堂遺跡と高嶺遺跡の高台から見る集落や海を望む壮観な眺望の保全に努める。

与佐次河は、地域と協働により保全・整備に努める。

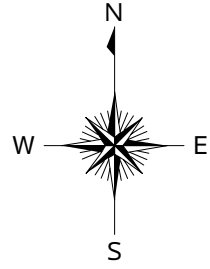
平安座集落の背後を囲む斜面緑地は、貴重な緑地帯として維持・保全を図り、風致地区等の指定を検討する。

保存樹(案)一覧図(与那城地域)

0 500 1,000 2,000m



住民意見からの保存樹(案)



うるま市みどりの基本計画基礎調査委託業務報告書にある保存樹(案)をもとに、住民意見から挙げた樹木を追加している。ここに挙げられている樹木は一例であり、実際の保存樹指定の際には、さらなる調査が必要である。



照間集落のモクマオウ



HY記念サワフジ



屋慶名のガジュマル



ヌンドウチ公園のガジュマル



ソーダンカーのガジュマル



屋慶名のガジュマル



社協のフクギ



伊計小中学校のクワノハエノキ



伊計公民館のアコウ



伊計集落のフクギ群



伊計集落のフクギ群



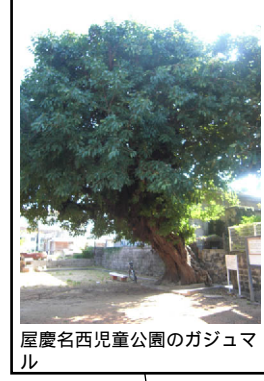
伊計集落のフクギ群



伊計集落のモンパノキ



照間の拝所モーグラーのガジュマル



屋慶名西児童公園のガジュマル



与那城西原のガジュマル



与那城西原拝所のガジュマル



屋慶名の井戸のガジュマル



三代目屋慶名クワディーサー



平安座小中学校のクワディーサー



平安座集落内のフクギ群



桃原集落のフクギ群



宮城御殿のガジュマル

凡 例	
● (Yellow)	主な公共施設
● (Blue)	史跡・闘牛場
■ (Light Blue)	ビーチ
■ (Green)	公園
— (Red)	国道・県道
■ (Light Cyan)	水面(河川・水路)